

第3章

府中市の農業振興の基本方針

第1節 府中市農業の将来像と基本目標

第2節 施策体系

第1節 府中市農業の将来像と基本目標

≫将来像≫

次世代につなぐ持続可能な農業・農村の確立

若者が夢をもって就農を志すことができる魅力ある産業としての農業を確立し、個人や法人、企業等が各々の目的、意向に沿った生産活動を通じて地域の社会経済に活力をもたらす農業を目指します。

また、老若男女、農家・非農家、U・Iターン者等が皆で役割を担い、誰もが生き生きと活躍することができ、美しい農村景観、豊かな食文化を育み、地域資源を活かした多様なビジネス、そしてライフスタイルを実現し、安心して暮らせる農村を目指します。

そのために必要な施策を着実に進めていくなかで、多様な主体を育成し、農地及び農業用施設等農村資源も含めて次世代に引き継ぐことで、持続可能な農業・農村を確立します。

基本目標Ⅰ 活力ある強い農業の実現

専業で営む農業経営体にとっては生活基盤を支えるうえで必要な所得を得ることができ、高齢者、兼業農家など小規模経営であってもそれぞれの目的・意向に沿って経済的な価値を生み出す農業が求められます。

そのため、適地適作による作物の導入や生産基盤の確保、整備、新技術の導入とともに需要に応じた生産と販売力強化等を通じて生産性向上を図り、活力ある強い農業を実現します。

基本目標Ⅱ 魅力ある農村の創造

営農意欲の減退を招き、健全な農地の利用を阻害している野生鳥獣による農作物被害を抑え、農業用施設等を良好に維持管理することで営農環境を保全するとともに、農村に暮らす人々が生き生きと活躍でき、農村ならではの多様な資源を活かし、若い人が自由な発想と創意工夫によって新たなビジネスに取り組める環境づくりを進めることで、魅力ある農村を創造します。

こうした農業・農村の多様な価値と魅力を内外に発信し、都市住民との交流機会の拡大を通じてU・Iターン等の受け入れによる定住者の確保に結び付けていきます。

≫取組の視点≫

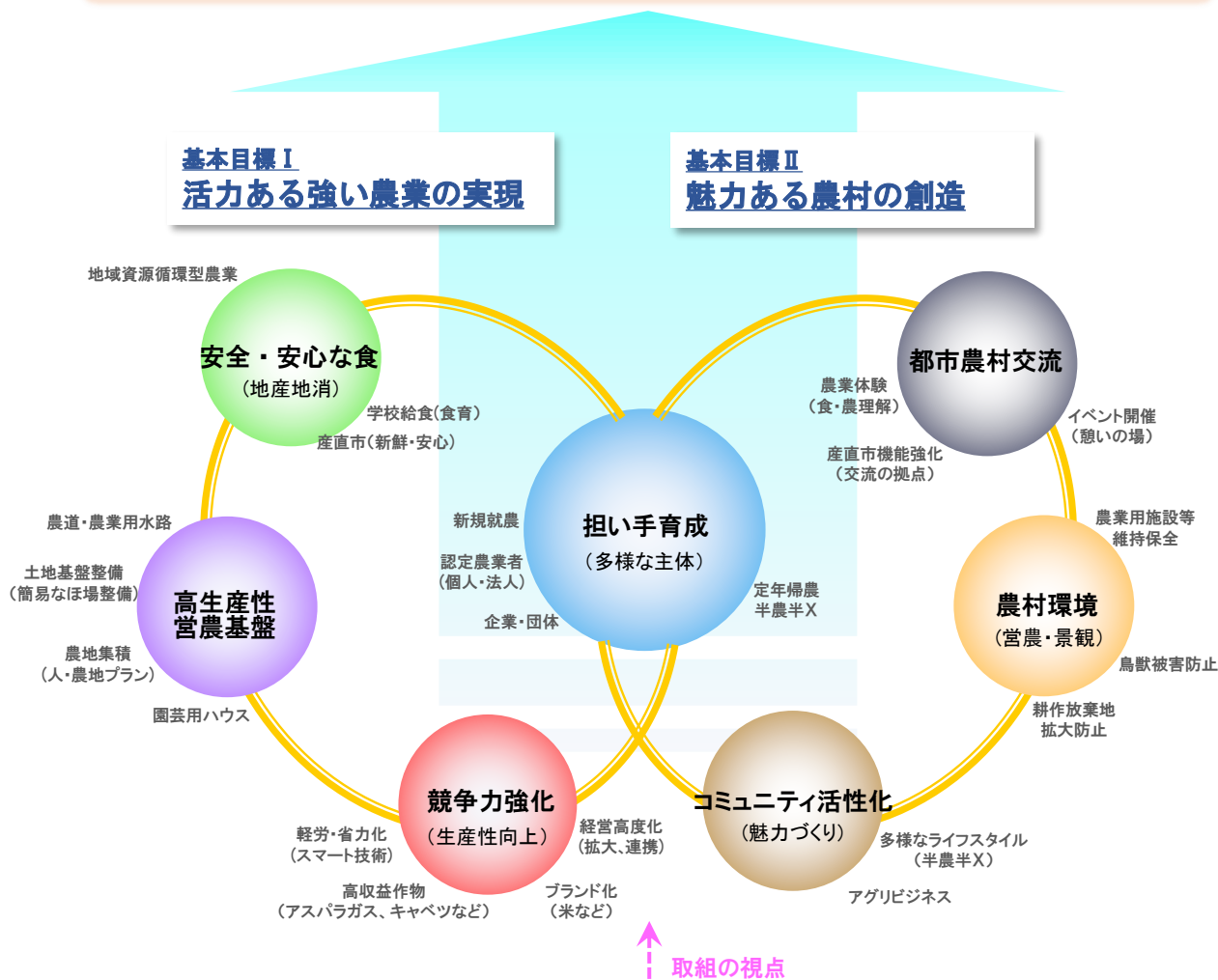
(1) 稼ぐ農業を基調とした施策の展開

高齢化、労働力不足が進むなかで、農地等農村資源の保全・活用に取り組む上で、新たに農業所得向上に取り組む主体となる多様な担い手の育成・確保を基礎として位置づけることで、様々な取組を進めていきます。

(2) カーボンニュートラルを踏まえた施策の展開

気候変動の緩和、生物多様性の保全、持続可能な食料生産と消費（エシカル消費）など、SDGsの目標達成を念頭に関連施策を進めていきます。

次世代につなぐ持続可能な農業・農村の確立



稼ぐ農業を基調とした施策の展開

- 多様な担い手育成・確保(体験機会の提供等)
- 専門的知見の活用(土づくりにこだわった付加価値向上等)
- アグリビジネス(農業×食・体験・観光等)

「カーボンニュートラル」を踏まえた施策の展開

地球環境保全、持続可能な食料生産と消費(エシカル消費)やカーボンニュートラル、SDGsの目標達成を視野に関連施策を進めていきます。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

第2節 施策体系

基本目標 I 活力ある強い農業の実現

1. 明日の農業を担う人材・組織の育成

(1) 新規就農者の育成

新規就農者の受け入れ体制の整備

関係機関・団体等連携による育成支援

異業種企業による農業参画促進

(2) 意欲ある担い手の育成・確保

経営安定、規模拡大等に向けた経営基盤強化支援

定年帰農等の促進

未来の担い手育成

(3) 多様な主体による農業参画の促進

農業体験の場、農業就業機会の創出

半農半X等の定住人口の拡大促進

2. 農業の競争力の向上

(1) 担い手間連携による経営基盤強化

多様な連携推進体制の整備、連携支援

(2) 高収益作物の生産拡大

重点振興野菜の生産拡大

高収益果樹の導入、普及

(3) スマート農業技術の活用促進

普及、推進体制の整備

高生産性・省力化等機械施設導入

(4) 府中市ブランドの創出

ブランド創出プロジェクトの推進

ブランド農産物等PR、販売促進

(5) 農商工観連携による農業経営の取組拡大

連携推進体制の整備

6次産業化の推進

3. 新鮮で安心な食料供給と食に対する理解の促進

(1) 安全・安心で高品質な農畜産物の生産供給

安全・安心な農畜産物の生産促進

地域資源循環型農業の推進

GAP等認証取得の推進

(2) 地産地消の推進

産直市への少量多品目農産物の生産出荷拡大

学校給食への市内産農産物供給拡大と食育推進

産直市を拠点とした情報発信等強化

4. 活力ある農業を支える基盤の整備・維持

(1) 農地等生産基盤の整備、保全

農地の集積、汎用化の推進

農業用施設等の計画的な改修、整備

基本目標 II 魅力ある農村の創造

5. コミュニティの活力向上と農村の魅力づくり

(1) 地域特性を活かしたアグリビジネス創出

アグリビジネス推進協議会等設置支援

アグリビジネス取組支援

(2) 多様なライフスタイルが実現できる農村づくり

多様なライフスタイル、受け入れ体制等整備

半農半X等の定住人口の拡大促進

6. 農地等農村環境の保全・活用

(1) 鳥獣被害防止対策の強化

侵入防止、追い払い、捕獲等総合対策の強化

集落ぐるみによる防止対策の促進

資源有効利用等新たな取組の推進

(2) 多面的機能の維持・発揮

農地、農業用施設等の維持、保全

地域資源循環型農業の推進

(3) 耕作放棄地の再生と有効活用

多様な担い手による農地利用の促進

農地の長期的な利活用の検討

7. 都市と農村の交流連携による農業理解の促進

(1) 都市農村交流の促進

農業とふれあう機会の創出

農業体験の場、農業就業機会の創出

交流拠点としての産直市の機能強化

